

Akashi College		Year	2020	Course Title	Politics and Economics
Course Information					
Course Code	0023	Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 2		
Department	Architecture	Student Grade	2nd		
Term	Year-round	Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	山崎広明他『詳説政治・経済 改訂版』山川出版社(2018), 須藤 雄一 他(編著)『政治・経済資料』東京法令出版(2019)				
Instructor	HOMMA Tetsuya, HIDAKA Kaoru				
Course Objectives					
<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の本質に関する知識と理解を得る。 ・市場と経済の基本的メカニズムを理解する。 ・現代における政治・経済・国際関係の状況を科学的に理解し、それらに関する諸課題について主体的に考察できる。 ・以上を総合し、公民として公正な判断ができ、また、職業人として適切な意思決定ができる。 					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	民主主義の本質を理解し、利点と限界も認識している。	民主主義の基本的な特徴を理解している。	民主主義の基本的な特徴を理解していない。		
評価項目2	ミクロおよびマクロの市場メカニズム概念を理解し、経済における私的部門と政府部門の役割を説明できる。	基本的な市場メカニズムを理解している。経済政策の必要性を認識している。	市場メカニズムの概念を理解していない。		
評価項目3	現代における政治・経済・国際関係の状況を科学的に理解し、それらに関する諸課題について主体的に考察できる。	現代における政治・経済・国際関係の状況、およびそれらに関する諸課題を概ね理解している。	現代における政治・経済・国際関係の理解が不十分で、どこに問題があるかを認識できない。		
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 (C) 学習・教育到達度目標 (H)					
Teaching Method					
Outline	政治と経済の基本原則を理解し、現代社会の経済社会や政治体制において生じている問題のメカニズムと問題に対処するための方策を考察する。				
Style	講義を中心とし、教科書、配布資料、板書を用いながら授業を進める。 前期担当：日高薫 後期担当：本間哲也 連絡員：荒川裕紀				
Notice	国際社会は多様な政治と経済によって成立していることを考える視点を身につけることが期待される。そのために主体的に学ぶことが求められる。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	政治と国家(政治の意味、国家の要素)	権力の概念を理解し、国家とは何か、法とは何かについてのイメージを掴んでいる。	
		2nd	政治と法	政治とは何かについて考え、権力の正統性として法治主義の考えを理解する。	
		3rd	民主政治の発展(1)(原理と発展)	自然権思想、社会契約説、国民主権に関する基本的な知識を身につけている。	
		4th	民主政治の発展(2)(近代民主政治の基本原則、基本的人権の保障)	法の支配、法治主義を理解する。基本的人権の保障が近代憲法の原則であることを理解する。	
		5th	民主政治の発展(3)(権力分立、各国の政治制度)	権力分立の目的を理解する。多くの国で議会制民主主義が採用されていること、その類型を知る。	
		6th	日本国憲法と民主政治(1)(憲法の内容、歴史)	立憲政治の思想を理解する。日本の新旧憲法を例に近代憲法の性格を理解する。	
		7th	日本国憲法と民主政治(2)(基本的人権の保障)	自由権的基本権の内容を理解する。	
		8th	中間試験	前期前半の学習事項の理解を確認する。	
	2nd Quarter	9th	日本国憲法と民主政治(3)(統治機構、日本の政治制度と国会)	国会・内閣・裁判所制度に関する基本的な知識を持つ。国会の仕組みや権限、優越院、国会議員の特権などを理解する。	
		10th	日本国憲法と民主政治(4)(国民の司法参加、地方自治の仕組みと住民参加)	司法権の独立や公正な裁判のための仕組みを理解する。地方自治の目的や直接民主制の機能を理解する。	
		11th	選挙(選挙制度、選挙運動の問題)	現代政治における選挙制度や選挙民の意思がどのように反映されるかを理解する。	
		12th	平和主義と日本の安全保障	前後の日本外交の歴史を知り、現在の日本外交の課題を理解する。	
		13th	国際社会の成立と発展(国際連盟～国際連合)	国際法の成立や国際司法機関、人権保障の国際的な動きなどを時系列に認識する。	
		14th	国際政治の動向(1)(人種、民族問題、紛争、軍縮)	冷戦の経過と終結、軍縮の歴史的経緯、冷戦後の国際情勢についての知識を持ち、地域紛争などの現状を理解する。	
		15th	国際政治の動向(2)(日本の領土問題について考える)	領土問題を例に、日本の外交上の問題を考える。	
		16th	期末試験	前期後半の学習事項の理解を確認する。	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	経済活動と資本主義	資本主義経済の原則、政府の役割など、資本主義経済の特徴と歴史的変容を理解する。	

4th Quarter	2nd	財・サービスと市場	財・サービスの特徴を理解する。また、家計・企業・政府という経済主体分類とそれぞれの役割の概要を理解する。
	3rd	家計・消費者と需要	効用および余剰の概念を知り、それにより消費活動を捉える。需要曲線を簡便的な手続で導く。
	4th	企業と生産活動	企業の役割を理解し、株式会社の特徴を知る。利潤の概念を理解する。供給曲線を簡便的な手続で導く。
	5th	市場の機能と限界（1）	価格メカニズムの基本を理解し、市場均衡の安定性と効率性を認識する。
	6th	市場の機能と限界（2）	市場の失敗の考え方を知り、市場への政府介入の正当性を理解する。
	7th	物価	物価の概念を理解し物価指数の概要を知る。インフレ・デフレの原因や社会への影響を理解する。
	8th	中間試験	後期前半の学習事項の理解を確認する。
	9th	国民所得と経済成長（1）	国民経済指標、特にGDPの考え方を知り、それらと国民福祉の関係を考える。
	10th	国民所得と経済成長（2）	経済成長の概念、成長の要因を理解する。景気概念や、景気変動のメカニズムに関する基本知識を得る。
	11th	財政（1）	財政の機能を理解し、国民生活および国民経済との関係（特に財政政策の総需要創出メカニズム）を知る。
	12th	財政（2）	税制度の基本を理解する。税の存在が市場に与える影響を知る。
	13th	貨幣と金融	貨幣の特徴を理解する。金融のしくみや金融機関・中央銀行の機能を知る。主な金融政策を理解する。
	14th	国際経済	保護貿易と自由貿易の考え方、国際収支・為替相場・国際通貨制度などに関する知識を得る。
	15th	経済のグローバル化 総復習とまとめ	経済のグローバル化、地域的経済統合の歴史と現状を知る。南北問題や地球規模の環境問題に関する知識を得、どのような対策が可能かを考える。
	16th	期末試験	後期後半の学習事項の理解を確認する。

Evaluation Method and Weight (%)

	筆記試験	課題・平常点	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0